

第50回「耳の日」実施報告書

平成17年3月3日

一日耳鼻都道府県地方部会から一

都道府県	無料相談の実施状況	講演会・映画会などの実施状況	報道機関の協力状況
北海道	3月3日北海道新聞主催の「耳の日」無料相談会に、北大・札幌大・市立札幌病院耳鼻咽喉科から各1名計3名が参加し、主に難聴に関する相談を受けた。	北海道地方部会主催、北海道耳鼻咽喉科医会および札幌市の共催にて、3月6日札幌大講堂で市民公開講座「耳を大切に」を開催。講師は北大・札幌大から各1名で、それぞれ「感音難聴」「伝音難聴」について講演し、終了後質疑応答を行った。	北海道新聞社が協力してくれた。
青森県	12名実施 (難聴、中耳炎、補聴器)	「高齢者の難聴」という題で新川秀一教授(弘前大)が講演した。	陸奥新報、毎日新聞、その他各新聞社、弘前市広報。
岩手県	2月27日(日)10:00～13:00まで、岩手医大循環器医療センター8階で実施した。 後援：岩手県、盛岡市、岩手医科大学、県・市医師会、大学医師会 実施者：医師30名(地方部会員15名岩手医大15名) 聴力検査技師3名(岩手医大)、看護師3名、補聴器技能士2名、協賛者7名 実施内容：相談内容を問診後、医師が診察。必要時聴力検査を施行。その上で医師が説明室にて説明。場合により補聴器相談も施行。ただし、その場での補聴器貸出しや販売は一切行わず。 相談者：78名(男性39名、女性3名)	3月6日(日)10:00～12:00まで盛岡市のLIRIOで無料特別講演会を実施。村井和夫岩手労災病院院長が、「岩手県における人工内耳の現況」という題で講演。 会場には岩手難聴者協会の協力でループを設置し、OHPによる要約筆記も行った。また講演の中で実際に人工内耳を装着した方2名の話インタビュー形式で聞く場面もあった。参加人数は約70名。講演後40分ほど医師による人工内耳についての個別相談会を別室で行い5名から相談を受けた。	盛岡市および周辺地域の広報、タウン誌、新聞(岩手日報、盛岡タイムス等)や地元テレビ、ラジオを通じて宣伝。 人工内耳講演会の様子は、同日のいわてめんこいテレビの昼と夕方のニュースで放映された。
宮城県	2月27日(日)仙台市医師会館にて15:00～16:30の間に+C98無料医療相談・補聴器相談を行い、計16名の耳鼻咽喉科医の協力を得て約100名の相談に応じた。また、宮城県・仙台中途失聴者難聴者協会のブースを設け、相談を行った。 その他にも鼓膜写真の撮影、配布簡易聴力検査も行い、約150名の来場者があった。	2月27日(日)仙台医師会館にて13:00～15:00の間に講演会を行った。栗原中央病院耳鼻咽喉科・小岩哲夫先生による「宮城県におけるスギ花粉飛散について」、東北大耳鼻咽喉科・佐藤利徳先生による「老人性難聴ー補聴器について」、宮城県・仙台市難聴者中途難聴者協会会長・松本隆一氏による「難聴者中途失聴者協会の活動について」と題した講演が行われた。聴衆は約300名で大盛況であった。要約筆記(パソコン)も行った。	後援先に、報道依頼を事前に行ったため、各新聞、ラジオ、テレビ局数社より協力を得て案内が掲載された。河北新報夕刊の「仙台圏イベント情報」や河北Weekly、朝日Willおよび2月26日(土)付河北新報朝刊1面に「耳の日」の広告を載せ、催しの案内をした。 また、当日東北放送の取材を受け、ニュースで放映された。
秋田県	なし。	2月20日(日)秋田拠点センターにて13:30～16:00まで「耳の日」50周年記念の市民公開講演会「聞こえについて考えてみよう」を開催。藤原記念病院副院長・東紘一郎先生：「難聴について」、阿部耳鼻咽喉科医院院長・阿部隆先生：「ストレス性難聴」、県立リハビリテーション・精神医療センター耳鼻咽喉科科長・中澤操先生：「子供の難聴を早く発見したい理由」、高橋耳鼻咽喉科眼科クリニック院長・高橋辰先生：「補聴器の正しい使い方」、秋田大耳鼻咽喉科教授石川和夫先生：「人工内耳とは」の5題の講演が行われた。 手話・要約筆記による通訳、補聴器磁気ループ席を用意。会場前に補聴器相談バスを寄せて、デモンストラクションを行った。参加者は250名。	公開講演会を実施するにあたり、啓発してもらった。 (秋田市広報・新聞社2社・テレビ2社・ラジオ1社)

山形県	「耳の日の無料相談」を山形市医師会、身体障害者厚生相談所などの協力の下に、3月3日14:00～17:00まで山形身体障害者更生相談所において行った。医師2人で相談にあたり、相談者は24人であった。	3月5日（土）13:00～15:00まで山形市保険センターで第50回「耳の日」記念市民公開講座「よりよい聞こえのために」を行った。約250名ほどの参加者があり、質疑応答も多く、盛況であった。	山形県、山形市、医師会、各新聞社、各テレビ局、ラジオ放送局に「耳の日の無料相談」および「市民公開講座」の広報を依頼し、協力をいただいた。
福島県	無料相談室：3月3日13:00～15:00郡山市身体障害者福祉センターにおいて、耳の健康診断、聴力検査などを実施した。 電話・Faxによる相談室：3月3日18:00～20:00、福島市医師会内で耳の病気に関して耳鼻科医が相談に応じた。	なし。	「福島民報」と「福島民友」の二大地方紙に、医療機関の広告を掲載した。「福島民報」に44医療機関「福島民友」に40医療機関の広告が掲載された。大森地方部会長の挨拶として、子供と高齢者の難聴について説明した。また、無料相談室と電話・ファックスによる相談室の案内を入れた。
茨城県	3月5日（土）15:00～17:00「耳の日」50周年記念事業として、つくば国際会議場にて医師による個別相談会ならびに認定補聴器技能者による補聴器相談会を行った。	3月5日（土）13:00～15:00「耳の日」50周年記念事業として、つくば国際会議場にて市民公開講座「茨城における難聴医療の現状」和田哲郎先生（筑波大助教授）、「聴覚障害者と視覚障害者のための大学－ヘルン・ケラーとグラハム・ペルー」大沼直紀先生（筑波技術短大学長）を開催した。	常陽ウイークリーに「耳の日」50周年記念事業の案内を掲載した。
栃木県	3月6日（日）福田屋ショッピングプラザ宇都宮店において、相談医8名による無料相談を実施した。前日からの厳しい冷え込みもあり、相談者は35名（男性13名女性22名）と少なかった。 相談内容は、耳鳴りに関するものが多く、次いで難聴が6名、補聴器関係が5名であり、その他にはめまい、慢性中耳炎、耳垢などの相談があった。	なし。	2月26日リビングマロニエ掲載
群馬県	2月20日（日）9:30～12:00群大付属病院内「刀城会館」で群大16名、医会（開業医）6名の相談医による難聴と補聴器相談を実施した。 相談者は50歳から80歳まで49名。相談内容は、難聴、耳鳴、耳漏、めまい、補聴器等であった。	なし。	上毛・朝日・毎日・読売新聞に耳の日、難聴と補聴器相談が取り上げられた。
埼玉県	なし。	3月7日（日）埼玉県民健康センター大ホールにおいて「耳の日」記念のつどいを開催した。 講演は、1. 「私と補聴器・人工内耳－難聴の人が住みよい社会のために－」神田幸彦先生（神田耳鼻咽喉科entクリニック）。2. 「中耳炎による難聴－手術で治る難聴－」飯野ゆき子先生（帝京大教授）で、参加者は約180名であった。	全国紙の地方支局から報道された。
千葉県	3月6日（日）無料相談会「きこえの相談」「補聴器の試聴」を行った。	3月6日（日）「耳の日」記念大会として、講演「老人性難聴と耳鳴」馬場俊吉先生（日医大）、「小児難聴」工藤典代先生（千葉県こども病院）を行った。	なし。
東京都	3月3日（木）、東京都地方部会主催全国補聴器メーカー協議会および朝日新聞厚生文化事業団後援にて、補聴器無料相談会を有楽町マリオン11回朝日スクエアで開催した。 相談会の内容は例年通り、問診・アンケート調査・聴力測定・補聴器再調整・医師相談であった。 来場者は55名で1人あたり30分の相談を行い、35名は病院もしくは補聴器メーカーへ紹介した。会場の一区画で難聴補助用具の展示と「補聴器の上手な使い方」のビデオの上映を行い、来場者に同ビデオを進呈した。	なし。	朝日新聞厚生文化事業団の後援を得て、朝日新聞に開催および相談申込み募集の社告を掲載した。

神奈川県	3月6日(日)「難聴と補聴器の相談会」を開催した。参加者は44名であった。	3月6日(日)13:30~15:30神奈川県総合医療会館7階講堂で、「耳に関するおはなしー耳の病気や聴力・補聴器についてー」の講演を行った。1.「耳の仕組みと中耳炎について」松田秀樹先生(横浜市大)、2.「難聴について」小野雄一先生(北里大)、3.「補聴器について」大上麻由里先生(東海大)、4.「めまいについて」肥塚泉先生(聖マリアンナ大)	1. 地方テレビ(藤沢ケーブルテレビ)に本会会員が出演。2. 郡市医師会提供の健康番組「メディカルスタジオ みんなの健康」(テレビ神奈川)にて本会会員が「耳の日にちなんで」のテーマで放映を行った。3. 神奈川県医師会が担当している地方紙(神奈川新聞)の健康欄に、耳鼻咽喉科領域で2題を掲載。4. 地方部会主催による第50回「耳の日」記念講演会について朝日新聞および読売新聞が各神奈川版にて紹介した。
新潟県	3月3日(木)新潟市の2カ所において、それぞれ84名、39名を対象に無料健康相談(耳の検診・聴力検査・補聴器相談)を行った。3月6日(日)三条市において実施、14名の相談者があった。3月3日(木)上越市において実施、33名を対象に耳の検診を行った。	なし。	なし。
富山県	3月6日(日)富山県総合福祉会館・サンシップとやまにおいて「耳の日無料相談会」を実施した。相談会には85名が訪れ、日耳鼻会員(開業医4名、大学所属医師ら14名)だけでなく、保健師、看護師、県更生相談所、聾学校教員、言語聴覚士、補聴器専門店、各聴覚障害者団体、手話要約筆記サークル、学生ボランティアなどの参加を得て、盛況のうちに終わった。関連機関の横のつながりを確認する意味でも、年に一度のイベントとして定着してきた。	3月6日(日)無料相談後に「市民公開講座」を実施した。約60名の市民参加者を得て、「ここが聞きたい耳鼻科の病気」というタイトルで、耳以外の疾患についてもシンポジウム形式で講演を行った。(司会:渡辺行雄、講師:岡部陽三、浅井正嗣、藤坂実千郎)。その後、質疑応答を受けつけ、熱心な討論があった。	市報、新聞、テレビ、ラジオ等の他、情報誌などにも掲載して、事前PRを行った。例年のイベントとしてメディアなどでも定着してきたこともあり、比較的スムーズに利用できるようになった。事前のテレビ、ラジオ取材のほか、当日の相談会の内容も新聞記事、テレビ放映などで紹介された。
石川県	3月6日(日)10:00から12:00まで石川県音楽堂交流ホールで実施した。耳鼻咽喉科専門医6名、石川県言語聴覚士会、石川県ろう学校、補聴器販売店協会の協力を得た。相談者は30組。内容は聴力検査、補聴器の試聴の実施など。	3月6日(日)13:00~16:00まで「耳の日フェスタ2005」を開催した。内容は、講演2本、人形劇の公演。手書き要約筆記・パソコン要約筆記・手話通訳を使って情報保障を行った。聴衆は450人で、老若男女、健聴者、聴覚障害者を問わずに楽しむことができ、盛会裏に終了した。	地元紙である北國新聞、北陸中日新聞が広告掲載、また広報・後追い記事を掲載した。
福井県	なし。	3月5日(土)15:00~16:30まで、福井新聞社 風の森ホールにて公開講演会「あなたの耳は大丈夫? 一家族みんなのための難聴予防と対処法」斎藤武久助教授(福井大)を開催した。参加者は約50名。	公開講演会開催に先立ち、福井新聞および系列の地元テレビ局で報道された。
山梨県	3月6日(日)13:30~15:30まで、岡島ローヤル会館にて、難聴と耳鳴、補聴器に関する相談会を行った。相談者は18名。	3月6日(日)12:30~13:30まで、岡島ローヤル会館にて、講演会「良い聞こえのための知識」今村俊一先生(山梨大)を開催した。2名の手話通訳者が講演内容を同時通訳した。参加者は80名。	報道機関に文書通達で取材の要請をした。
長野県	3月3日(木)信大付属病院、相澤病院、諏訪赤十字病院、市立岡谷病院にて実施した。3月21日信大付属病院にて、補聴器・人工内耳無料相談会を実施した。	3月26日(土)信大付属病院にて「難聴と遺伝」に関する一般向け講演会を開催した。	長野県各報道機関に「耳の日」の行事について通達し、地方紙に掲載された。
岐阜県	地方部会会員により、個人面談にて耳鼻咽喉科疾患全般についての無料相談を実施した。10名の方の質問に対応した。	3月6日(日)13:00~15:30まで岐阜大附属病院の多目的ホールで、「耳の日のつどい」を開催した。ビデオ(難聴に関するもの)の上映後講演 1.「耳からおこるめまいについて」安藤健一先生(岐阜大)、2.「急におこる難聴について」柳田三洋子先生(県立岐阜病院)、3.「補聴器の使い方ーうまく使いこなすにはー」坂博一氏(理研産業)を行った。	岐阜放送・岐阜新聞社の協力により、「耳の日」開催に先だって、耳疾患についての討論座談会の記事および講演会開催のお知らせ、講演の報告記事が掲載された。
静岡県	なし。	なし。	なし。

愛知県	なし。	2月20日(日)14:00～17:00まで、名古屋芸術創造センターにて、耳の日50周年記念フェスタ「Anniversary Event 50th Ear's Day "Good Sound Good Life Concert"」を開催した。第1部：アカペラ演奏、第2部：講演「耳の健康を保つために」馬場駿吉先生(名市大名誉教授)、第3部：中国琵琶演奏。参加者は420名。	なし。
三重県	2月27日(日)四日市医師会館で行われた。内容は、聴力検査、検診、医療相談、補聴器相談で医師12名(大学病院1名、勤務医5名、開業医6名)が参加した。会場の設営から進行まで地方部会員が行った。来場者は26名。	2月27日(日)四日市医師会館にて講演「聞こえのしくみと難聴の種類について」岡本耕典先生(四日市市民病院院長)、「手術で聞こえの良くなる病気について」吉村栄治先生(県立医療センター院長)が一般市民を対象に行われた。講演後、聴衆よりの質問を受け付けた。	本年は四日市医師会・三重県医師会の後援をいただき、地区医療機関での広報を行った。行政では四日市市役所の協力を得た。報道機関では、テレビ局1社、新聞社2社が取材し、ニュースなどで紹介された。
滋賀県	大津市の障害者福祉センターで、3名の医師による相談を行った。	なし。	なし。
京都府	2月26日(土)京都市身障者リハビリセンターで耳と補聴器の相談を行った。 3月3日(木)視覚障害者施設2カ所、老人ホーム4カ所で耳の無料検診を行った。	3月6日(日)京都産業会館シルクホールにて、耳の日記念公開講演会「聞こえを大切に」を行った。 1. 「聞こえの仕組み、子供の難聴」伊藤壽一先生(京大教授)、 2. 「補聴器の正しい選び方」立本圭吾先生(京都第一日赤部長)。 参加者は約300名であった。	京都新聞、京都リビング、朝日新聞、FM845(京都ローカルFM局)において開催案内が掲載・放送された。
大阪府	2月20日に「耳の日特別相談会」を大阪市立大学主催で行った。出務医師3名、相談者209名であった。2月27日に「補聴器無料相談会」を大阪府耳鼻咽喉科医会主催で行った。出務医師11名、相談者は38名であった。	1. 2月27日毎日新聞オパルホールにて、耳の日セミナー「耳の健康を考える」を開催した。浅井英世、萩森真一、山下敏夫がパネリストとして参加、池田知隆勝也(毎日新聞論説委員)が司会をした。受講者は480名であった。 2. テレビ大阪「健康手帳」にて放映2月1日菊守寛、2月15日奥村隆司が講演した。 3. 毎日放送ラジオ「ドクターM」にて放送、2月5日・12日・19日・26日に須藤直廣が講演した。 4. NHKラジオ「関西ラジオワイド・季節の健康」にて放送、2月23日、3月9日に望月隆一が講演した。	3月3日に大阪日日新聞に「耳の日」特集記事を掲載した。浅井英世(耳の日に寄せて)、土井勝美(聴力改善手術)、坂下哲史(補聴器)、土井直(耳鳴り)、荒木倫利(メニエール病)がそれぞれのテーマで寄稿した。
兵庫県	神戸大学付属病院耳鼻咽喉科外来 3月2日(水)13:00～15:00 相談：6件 兵庫医科大学付属病院耳鼻咽喉科外来 3月2日(水)9:00～10:30 相談：31件 神戸中央市民病院耳鼻咽喉科外来 9:00～11:00 相談：3件	播州地区：3月3日(木)13:00～姫路市医師会館中ホールにて、「難聴について」と題して深澤元晴先生が講演した。 神戸地区：3月5日(木)13:30～16:00神戸市勤労会館にて、「耳のしくみと難聴をきたす疾患」大津雅秀先生(神戸日赤)、「耳鳴りとめまいの話」田淵哲先生の講演を行った。「耳の病気」無料相談を行った。参加者は83名。 阪神地区：3月6日(日)10:00～16:00宝塚市総合福祉センターにて「宝塚耳の日の集いと相談会」を実施した。「難聴について」と題して瀬尾徹先生(宝塚市民)が講演した。参加者は157名。園田隆郎先生の「耳の無料相談」があった。	2月27日の神戸新聞朝刊に「耳の日座談会」として掲載された。出務者は、阪上雅史(兵庫医大)、丹生健一(神戸大)、内藤泰(神戸中央市民)であった。
奈良県	3月3日(木)奈良県社会福祉総合センター(橿原市)において、地方部会員7名、聴力検査技師2名、全国補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員数名、奈良市要約筆記サークル、奈良市医師会職員の協力を得て、無料相談を実施した。参加者は約60名。聴力検査と耳の病気の個人相談や補聴器装用に関する指導などを行った。	3月3日(木)奈良県社会福祉総合センター(橿原市)において、細井裕司教授(奈良医大)による「耳の病気と治療—どうしたら聞こえる?—」の講演を行った。参加者は約100名。	毎日、朝日および奈良新聞と奈良県の市町村広報紙に掲載された。

和歌山県	14施設で行い、34名が受診した。	3月19日(土)15:00~18:30 紀南文化会館小ホールにて、4月9日(土)15:00~18:30 和歌山市民会館市民ホールにて「耳の日」市民公開講座を開催した。 山中昇教授(和医大)による「難聴、耳鳴り、中耳炎の最新の医療ー聞こえがもどった!」の講演と、患者の人工内耳による回復体験談、「難聴、耳鳴り、中耳炎のチーム医療」と題した座談会を行った。	新聞に各病院の無料相談実施日を掲載した。 市民公開講座においては、新聞、テレビ、ラジオ等のほか、情報誌などにも掲載された。
鳥取県	なし。	1. 地方部会員を対象に小寺一興教授(帝京大)による特別講演「耳鼻咽喉科診療と補聴器」を行った。 2. 主要医療機関で職員、患者を対象に「耳の日」に関する講演会を開催した。	「耳の日」に関する特別な報道は少なかった。
島根県	3月6日(日)10:30~12:00 講演会終了後に県内3会場(松江市、出雲市、浜田市)で実施した。	3月6日(日)10:00~10:30 県内3会場「聞こえの仕組みと耳の病気」という題で講演を行った。 松江会場:川内秀之教授(島根医大) 出雲会場:片岡真吾講師(島根医大) 浜田会場:錦織朋之先生(浜田医療センター)。	2月25日の山陰中央新報に「放置は禁物 耳の異変」の見出しで、中耳の病気(真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎など)についての川内秀之教授(島根医大)への取材記事が掲載された。
岡山県	2月27日(日)の「耳の日の集い」において、4人の耳鼻科専門医が補聴器無料相談を行った。 相談者は8人。	2月27日(日)に岡山県難聴者協会、岡山中途失聴・難聴者協会、岡山市聴覚障害者協会と合同で、一般市民を対象とした「耳の日の集い」を開催した。黒神直純助教授(岡山大法学部)の「ノートテイクがもたらしたもの」、福島邦博講師(岡山大)の「難聴と耳鳴りについて」の講演と川崎医大オーケストラ部有志の演奏と手話ソング、補聴器無料相談、補聴器とその周辺機器の展示、難聴関係図書の展示販売を行った。参加者は、約250人であった。	山陽放送、山陽新聞、NHKなどにおいて「耳の日の集い」の報道が行われた。
広島県	3月6日(日) 広島市健康科学館において、「耳の日 難聴 補聴器 よろず相談会」を実施した。 この相談会では、補聴器相談医(約10名)が難聴についての相談や補聴器の苦情などの相談に応じると共に、補聴器の適正な装用を指導し、認定補聴器技能者(5社が協力)が補聴器の調整や試聴に対応した。さらに広島市ならびに広島県身体障害者更生相談所が高度難聴者への補聴器の法的交付基準の説明や福祉用具などの説明を行った。また難聴者の日常生活に役立つ振動式腕時計や無線呼出し器などの難聴者生活関連機器を展示し、難聴者に情報を提供した。相談者は32名。	3月6日(日)広島市健康科学館において、第50回「耳の日」を記念して記念講演会を開催した。 高齢化社会に向かう一方で、少子化も進み、子供を取り巻く環境にも大きな変化が訪れている。難聴のみならず言葉やコミュニケーションに悩んでいる子供たちが増えていることを考え、「子供の耳の病気について」と題して、益田慎先生(広島大助手)に講演をお願いした。 難聴者の参加が考えられることから、手話通訳、要約筆記もお願いし、講演内容の理解に努めた。	NHKの地方ニュースや民放のお知らせ等で協力を得た。
山口県	なし。	3月6日(日)13:00~15:00まで 鼓ヶ浦こども医療福祉センター地域交流ホーム燦にて、「耳の日」市民公開講座を開催した。 「耳寄りな“耳の話”」山下裕司教授(山口大)、「補聴器の上手な買い方」池田卓生先生(鼓ヶ浦こども医療福祉センター耳鼻咽喉科)の講演があった。 そのほか、補聴器の展示等を行った。	「耳の日」の広報が地方紙に掲載された。
徳島県	なし。	3月6日(日)徳島市ふれあい健康館(生涯福祉センター)において、徳島補聴研究会主催、徳島県耳鼻科医会後援による講演会「聴覚口話法と言語指導」我妻敏博教授(上越教育大)が行われた。同時に補聴器ワークショップが開催された。 3月13日(日)鳴門市において、地方部会・徳島補聴研究会主催により、講演会「高度難聴と人工内耳」武田憲昭教授(徳島大)が行われた。また、人工内耳装用者による体験発表があり、その後質疑応答が行われた。参加者は約50名であった。	なし。

香川県	2月27日(日)耳の日講演会終了後、補聴器に関する相談を行った。 毎月2回、高松市において、補聴器の無料相談(ボランティア団体「補聴器ネット香川」により行われている)に協力している。	2月27日(日)さぬき市において、「耳の日記念講演会」を開催した。	「耳の日記念講演会」の紹介記事が掲載された。2月末、新聞に難聴の特集記事が掲載され、その中で、今年で「耳の日」が第50回を迎えることを強調してもらった。
愛媛県	「耳の日フェスタ愛媛」において難聴者無料相談を実施した。	3月6日(日)10:00~12:30まで愛媛県身体障害者福祉センターにおいて、「耳の日フェスタ愛媛」を開催した。「なぜ聞こえない・どうしたら聞こえる」-難聴疾患、手術、補聴器について-を暁清文、高橋信雄が講演した。	愛媛新聞社の取材を受けた。
高知県	なし。	2月26日(土)13:00より、ふくし交流プラザにて講演会「耳の日50回記念 めまい、難聴のはなし」を開催した。	高知新聞に関連記事が掲載された。
福岡県	1)福岡地区耳鼻咽喉科専門医会(五孔会)主催で「耳の日」イベントを3月6日(日)、アクロス福岡において開催した。あいにく積雪の中での開催になったものの、約1100名の来訪者があった。今回は、関心度の高い「睡眠時無呼吸症候群」のコーナーを新設し、そのほかに内視鏡による鼓膜供覧、補聴器の相談、ティンパノメトリー、聴力検査、花粉症相談、人工内耳、薬剤師による薬の相談、中途失聴難聴者福祉協会による相談、耳鼻科専門医による無料相談、子供の聴力とことばの障害相談、講演などを行った。内視鏡、無料健康相談、聴力検査は今年も好評であった。 2)北九州地区耳鼻咽喉科専門医会では、3月5日(土)に北九州市難聴者・中途失聴者協会と共催で「第50回耳の日記念市民集会」を開催した。約40名の来訪者があり、講演と聞こえの相談会を行った。鳥居浩先生が「難聴の種類による補聴のやり方」を講演、また専門医師による難聴者への聞こえの相談を行った。	福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の主催で、「耳の日」講演会を3月6日にアクロス福岡で開催した。今年には坂田俊文先生の「耳が遠いってどんなこと?」。薬剤師会の竹野将行先生による「最近の吸入薬について」龍頭正浩先生の「顔の麻痺とウイルス」、また、今年にはスギ花粉の大量飛散が叫ばれたこともあり、榎本雅夫先生の「自分で出来る花粉症対策」などのテーマでご講演いただき、一般の生活に役立つ情報を提供した。そのほか昨年までのトークショーに代えて、「堤田ともこ」さんのライブを行い、会場は心地よい音楽に包まれた。	1)福岡地区耳鼻咽喉科専門医会より市の教育委員会を通して公民館にパンフレットを配布した。福岡市の市政だよりに掲載し、西日本新聞では医療健康相談コーナーで紹介された。今年にはRKB毎日放送、NHKラジオ、その他の自治体の広報誌でも紹介された。 2)北九州地区耳鼻咽喉科専門医会では北九州市の市政だよりに掲載した。 3)大牟田医師会耳鼻咽喉科専門医会では、日刊大牟田と有明新報に「耳の日」の広告を掲載した。
佐賀県	2月20日(日)14:00~16:00までりふれ(唐津市高齢者ふれあい会館)にて、「耳の日無料検診」を実施した。	2月20日(日)りふれ(唐津市)において、一般向け「高齢者のきこえと健康について」井之口昭教授(佐賀大)の講演を行った。 3月12日(土)ルネッサンスホテル創世(佐賀市)において、「嗅覚研究のトビックス」井之口昭教授(佐賀大)、「耳疾患の治療・手術と補聴器」細井裕司教授(奈良医大)の講演を行った。	3月3日の佐賀新聞に「耳の日」ポスター(縮小サイズ)を掲載した。
長崎県	2月27日(日)長崎県医師会館に補聴器相談コーナー・人工内耳紹介コーナー・聴導犬紹介コーナーを設置し、無料相談を行った。	2月27日(日)長崎県医師会館において、「子どもがことばを話せるようになるまで」緒方悦子先生(長崎大)、「耳垢と耳の病気」海江田哲先生(長崎大)、「わかりやすい扁桃腺の話」小島未知郎先生(小島耳鼻咽喉科クリニック院長)の3人の講師による講演を行った。なお、難聴者のために要約筆記・ループシステムの準備も行った。	テレビ(長崎放送局)に長崎大耳鼻咽喉科医局員が出演し、開催の案内を行った。
熊本県	なし。	なし。	なし。
大分県	3月6日(日)10:00~13:00まで大分市内のトキハデパートにて耳の日無料相談会を実施した。耳鼻咽喉科医会より9名、大分大耳鼻咽喉科より5名の医師が相談に応じた。相談者は71名であった。	なし。	2月28日、大分合同新聞に音響性障害に関する解説を掲載した。また、新聞、テレビ、ラジオにて耳の日無料相談会の案内に協力していただいた。

宮崎県	3月6日（日）13：00～15：00まで宮交シティ「紫陽花ホール」において無料相談会を実施した。相談者は59名であった。そのうち医療機関への受診勧奨は23名。	3月6日（日）13：00～15：00まで宮交シティ「紫陽花ホール」において講演会を開催した。 1. 「耳あかのはなし」 河野浩万先生（宮崎大） 2. 「耳鳴りは治るか？」 君付 隆先生（潤和会記念病院） 3. 「花粉症のはなし」 坪井康浩（宮崎大） 4. 「子どもに多い耳・鼻・のどの病気」 堀之内謙一（まなび野耳鼻咽喉科）	県内のテレビ・ラジオ各社に広報依頼をした。また、今年は県内の主要新聞各紙に有料広告を掲載し、告知に努めた。
鹿児島県	3月6日（日）13：00～15：30まで鹿児島県医師会館において実施した。補聴器相談、聴覚検査や補聴器の無料体験コーナー、自分の鼓膜を見るコーナーが設置された。	3月6日（日）13：00～15：00まで鹿児島県医師会館において、聞こえのしくみ、耳鳴り、補聴器に関する演題で、講演会を開催した。参加者は70名であった。	地元新聞に講演会の開催広告を掲載した。
沖縄県	3月3日「耳の日なんでも相談会」と銘打って耳の病気に関する質問を電話FAX、Eメールで受け付けた。結果は、電話による質問42、Eメールによる質問4、FAXによる質問0であった。一番多い質問は耳鳴りに関するものであった。また、沖縄県難聴福祉を考える会の主催で、一般県民に対し3月3日佐敷町において、3月13日那覇市においてそれぞれ講演会と並行し補聴相談会を実施し、啓蒙に努めた。	3月3日に県下の耳鼻咽喉科医師向けに「耳の日講演会」を開催した。「耳処置から耳科手術へ」という題で高橋姿教授（新潟大）が講演した。また、沖縄県難聴福祉を考える会で「聴力をよみがえらせる」という題で東野哲也教授（琉球大）が講演した。	RBC(琉球放送)の取材があり、3月3日の当日および前日にラジオ出演し、生放送された。また、NHKラジオとテレビで取り上げられ、新聞では沖縄タイムスに掲載された。